

中学校1年 年間授業指導計画表

教科目 数学Ⅱ 週3時間

教科書: 数研出版『体系数学1(代数編)』
啓林館『未来へひろがる数学1』

学期	区分	単 元	内 容	目標・留意点
第一学期	前半	第1章 正の数と負の数	1 正の数と負の数 2 加法と減法 3 乗法と除法 4 四則の混じった計算	数の範囲を負の範囲まで拡張し、負の数の意味を理解する。 また、正の数・負の数の四則について理解し、それらの計算に習熟し、数についての処理が手際よく出来るようにする。
	後半	第2章 式の計算	1 文字式 2 多項式の計算 3 単項式の乗法と除法 4 文字式の利用	文字を使って、数量や数量の間の関係・法則を式に表したり、式の意味を読みとったり、式の値を求めたりして、文字を用いることの意義を理解する。文字を用いた式に関するいろいろな用語の意味を理解し、正しく使えるようにする。 単項式と多項式の四則について理解し、その計算に習熟する。
第二学期	前半	第3章 方程式	1 方程式とその解 2 1次方程式の解き方 3 1次方程式の利用	方程式とその解の意味を理解する。等式の性質を見だし、それを利用して式を変形することで方程式が解けることを知る。 一元一次方程式の解法を理解し、その解法に習熟し、方程式を問題解決に利用することができるようにする。
	後半	第3章 方程式 第6章 資料の整理と活用	4 連立方程式 5 連立方程式の利用 1 資料の整理 2 代表値とちらばり 3 近似値と誤差	数量の関係を2つの文字を用いて等式に表しこの等式から文字の値が求められることを知る。 連立方程式の解法を理解し、その解法に習熟し、連立方程式を問題解決に利用することができるようにする。 資料を適切に整理し、分布や傾向を読み取るなど活用する方法について学ぶ。 章末では近似値、誤差、有効数字なども扱う。
第三学期		第5章 1次関数	1 変化と関数 2 比例とそのグラフ 3 反比例とそのグラフ 4 比例、反比例の利用	いろいろな事象の中にもとまって変わる数量があることに注目して、比例や反比例の関係を見だし、その変化や対応のようすを考察することを通して比例や反比例に対する理解を深め、それを利用できるようにする。 表、式、グラフなどで表現することを通して、比例や反比例の特徴を理解する。

補助教材: 数研出版「体系問題集数学1(代数編)標準」
「夏季課題問題集」 「冬季課題問題集」 「春季課題問題集」

学習方法	1. 教科書をよく読み、その単元での要点を押さえる 2. 要点をノートにまとめる 3. 例や例題をノートに写しながら、問題の解き方を理解する 4. 実際に問を解いて、理解を深める 5. 問題集を使って、繰り返し練習する
------	---